



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 エステールホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7872 URL <https://www.estelle.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 横内 達治 TEL 03-6628-8480  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月12日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	33,890	8.4	687	264.5	697	120.9	46	—
2025年3月期	31,271	△1.3	188	15.4	316	4.0	△345	—

(注) 包括利益 2026年3月期 44百万円(—%) 2025年3月期 △170百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	4.41	—	0.4	2.3	2.0
2025年3月期	△32.94	—	△2.8	1.0	0.6

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	30,087	12,285	38.7	1,112.36
2025年3月期	29,873	12,238	39.9	1,136.80

(参考) 自己資本 2026年3月期 11,654百万円 2025年3月期 11,910百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,019	△378	△608	5,111
2025年3月期	118	△306	△999	5,092

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00	282	—	2.3
2026年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00	282	612.0	2.4
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	27.00	27.00		65.8	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	34,250	1.1	950	38.3	900	29.0	430	830.3	41.04

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	11,459,223株	2025年3月期	11,459,223株
2026年3月期	981,653株	2025年3月期	981,653株
2026年3月期	10,477,570株	2025年3月期	10,477,570株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	16,464	8.1	468	133.1	371	128.0	94	—
2025年3月期	15,232	△5.4	201	△25.9	162	△27.8	△421	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	8.98	—
2025年3月期	△40.23	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	26,664	9,412	35.3	898.36
2025年3月期	27,636	9,579	34.7	914.32

(参考) 自己資本 2026年3月期 9,412百万円 2025年3月期 9,579百万円

<個別業績の前期実績との差異理由>

子会社(宝飾品事業)の売上回復に伴い、子会社への卸売の収入等の改善によるものです。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### (当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いている中、物価高による個人消費の一部に弱い動きがみられ、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇、また、米国の今後の政策動向による影響や中国における景気の下振れリスクさらには中東情勢の影響等、依然として先行き不透明な状況が続いております。小売業界におきましては、エネルギー価格や物流コストの高騰、相次ぐ値上げによる物価上昇や実質賃金の減少による節約志向が依然として継続するとともに、人手不足や最低賃金の上昇等により人件費が高騰し、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、店頭販売のさらなる拡充の為、人材育成の見直し強化を図るとともに、購買回復に向けた販売促進を積極的に展開してまいりました。また、業務の効率化、平準化に取り組むとともにお客様のニーズに対して、きめ細やかな対応をするため、品質・価格・品ぞろえを中心に店舗政策に取り組み、人材育成を強化することによりお客様満足度向上に努めてまいりました。

当社グループの当連結会計年度の業績は、人員体制の確保が厳しいなか秋冬の商戦期より、営業体制の見直しの効果が徐々に見え始め、売上高は338億90百万円(前年同期比8.4%増)と前年を上回ることとなりました。営業損益は、原材料費等の高騰に伴う原価の上昇による売上粗利益率の悪化や、販管費が増加するも、6億87百万円の利益(前年同期比264.5%増)となり、経常損益は6億97百万円の利益(前年同期比120.9%増)となりました。また、特別損失に店舗等の減損損失4億37百万円の計上により、親会社株主に帰属する当期純損益は46百万円の利益(前年同期は3億45百万円の損失)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりです。

#### (宝飾品)

当セグメントでは、お客さまとのコミュニケーションを強めていく取り組みや、人材育成の強化を進めてまいりました。しかしながら、採用が厳しく、人員不足による人員体制の確保が遅れるなか、営業体制の再構築の効果が徐々に見え始めたこと、また22店舗閉店しましたが、外部顧客への売上高は、274億98百万円(前年同期比6.6%増)となり、営業利益は、7億88百万円(前年同期比165.4%増)となりました。

#### (眼鏡)

当セグメントでは、国内小売事業では、店頭での打ち出し等の見直しや人材育成などの強化を進めたことにより、また、海外子会社での卸売事業が伸びたことにより、外部顧客への売上高は、42億53百万円(前年同期比31.9%増)となり、営業利益は、新工場の増設による費用の増加や人件費等の販売管理費の増加もあり、1億73百万円(前年同期比15.9%減)となりました。

#### (食品販売・飲食店)

当セグメントにおいては、よりオリジナリティのある商品開発に取り組むなど、マーケットの変化に対応してまいりましたが、6店舗閉店したこともあり、外部顧客への売上高は、21億38百万円(前年同期比4.5%減)となり、セグメント損益は原価率の増加や販売費及び一般管理費の増加もあり、営業損益は、2億77百万円の損失(前年同期は3億18百万円の損失)となりました。

なお、当期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

事業セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール(株)	キンバレー(株)	エステールホールディングス(株)
前期末店舗数	336	70	33
新規出店	2	1	0
閉店	△22	△1	△6
当期末店舗数	316	70	27

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末の298億73百万円より2億13百万円増加し、300億87百万円となりました。主な増減は、有形固定資産の増加5億74百万円、受取手形及び売掛金の増加2億59百万円及びその他流動資産の増加1億17百万円と、商品及び製品などの棚卸資産の減少6億20百万円及び敷金及び保証金の減少1億38百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末の176億34百万円より1億67百万円増加し、178億2百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金の増加6億46百万円、その他流動負債の増加2億50百万円及び資産除去債務の増加1億4百万円と、長期借入金の減少4億78百万円、電子記録債務の減少1億99百万円、1年以内返済予定の長期借入金の減少1億53百万円及び退職給付に係る負債の減少1億39百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末の122億38百万円より46百万円増加し、122億85百万円となりました。主な増減は、親会社株主に帰属する当期純利益46百万円と剰余金配当の支払2億82百万円による利益剰余金の減少2億36百万円などです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の50億92百万円より18百万円増加し、51億11百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは10億19百万円のプラス（前年同期は1億18百万円のプラス）となりました。これは主に棚卸資産の減少6億62百万円、減損損失4億37百万円、減価償却費3億71百万円及び税金等調整前当期純利益2億66百万円の資金増加と、売上債権の増加2億64百万円、法人税等の支払2億15百万円および退職給付に係る負債の減少1億17百万円の資金減少によるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3億78百万円のマイナス（前年同期は3億6百万円のマイナス）となりました。これは主に敷金及び保証金の回収1億20百万円の収入と、固定資産の取得3億34百万円の支出によるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは6億8百万円のマイナス（前年同期は9億99百万円のマイナス）となりました。これは主に長期借入による収入35億円と、長期借入金の返済による支出41億31百万円及び配当金の支払額2億82百万円の支出によるものです。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な資源価格の高騰、為替の大きな変動、賃上げに伴う人件費の増加など、価格転嫁による物価の高騰に加えて米国の今後の政策動向や中東情勢による景気への影響は依然予断を許さない状況にありますが、景気は緩やかに回復してきております。

次年度の当社グループの通期業績予想につきましては、宝飾事業における販売体制の整備及び商品政策の見直し等により売上の回復が見込まれるため、売上高342億50百万円、損益は営業利益9億50百万円、経常利益9億円、親会社株主に帰属する当期純利益は4億30百万円を見込んでおります。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当社グループの事業の地域性及び当社の株主構成並びに同業他社との比較可能性の観点から日本基準を適用することとしております。

なお、今後につきましては、これら諸条件の推移を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めてゆく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,112	5,111
受取手形及び売掛金	2,284	2,544
商品及び製品	10,851	9,710
仕掛品	1,508	1,701
原材料及び貯蔵品	3,944	4,270
その他	222	339
貸倒引当金	△0	-
流動資産合計	23,921	23,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,991	3,372
減価償却累計額	△2,181	△2,347
建物及び構築物（純額）	809	1,025
工具、器具及び備品	2,203	2,274
減価償却累計額	△1,886	△1,995
工具、器具及び備品（純額）	316	278
土地	31	31
その他	685	1,138
減価償却累計額	△441	△498
その他（純額）	243	639
有形固定資産合計	1,401	1,975
無形固定資産	127	113
投資その他の資産		
投資有価証券	226	285
関係会社株式	36	10
繰延税金資産	581	602
敷金及び保証金	2,218	2,079
賃貸土地	53	8
その他	1,308	1,335
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	4,423	4,320
固定資産合計	5,952	6,409
資産合計	29,873	30,087

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,211	1,857
電子記録債務	2,470	2,270
1年内返済予定の長期借入金	3,700	3,546
未払金	1,049	1,083
未払法人税等	88	137
賞与引当金	400	435
その他	1,166	1,417
流動負債合計	10,087	10,748
固定負債		
長期借入金	5,902	5,424
役員退職慰労引当金	243	262
退職給付に係る負債	1,280	1,141
資産除去債務	119	224
その他	1	1
固定負債合計	7,547	7,054
負債合計	17,634	17,802
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,367	3,388
利益剰余金	7,289	7,052
自己株式	△662	△662
株主資本合計	11,566	11,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74	96
為替換算調整勘定	236	160
退職給付に係る調整累計額	33	48
その他の包括利益累計額合計	344	304
非支配株主持分	327	630
純資産合計	12,238	12,285
負債純資産合計	29,873	30,087

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	31,271	33,890
売上原価	13,740	15,734
売上総利益	17,531	18,155
販売費及び一般管理費	17,342	17,468
営業利益	188	687
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	2	2
不動産賃貸料	3	3
受取手数料	28	29
為替差益	150	67
その他	9	13
営業外収益合計	203	123
営業外費用		
支払利息	59	90
貸倒引当金繰入額	-	0
その他	16	21
営業外費用合計	76	112
経常利益	316	697
特別利益		
受取補償金	1	-
助成金収入	1	-
固定資産受贈益	-	9
特別利益合計	3	9
特別損失		
減損損失	322	437
店舗閉鎖損失	0	3
助成金返還損	36	-
特別功労金	150	-
特別損失合計	509	441
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△190	266
法人税、住民税及び事業税	131	255
法人税等調整額	2	△39
法人税等合計	133	216
当期純利益又は当期純損失(△)	△324	49
非支配株主に帰属する当期純利益	21	3
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△345	46

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△324	49
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	21
為替換算調整勘定	81	△41
退職給付に係る調整額	31	14
その他の包括利益合計	153	△5
包括利益	△170	44
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△191	6
非支配株主に係る包括利益	21	38

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	7,917	△662	12,210
当期変動額					
剰余金の配当			△282		△282
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△345		△345
連結子会社株式の取得 による持分の増減		△16			△16
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△16	△628	-	△644
当期末残高	1,571	3,367	7,289	△662	11,566

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	34	154	2	191	228	12,629
当期変動額						
剰余金の配当						△282
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△345
連結子会社株式の取得 による持分の増減						△16
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	40	81	31	153	99	253
当期変動額合計	40	81	31	153	99	△391
当期末残高	74	236	33	344	327	12,238

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,367	7,289	△662	11,566
当期変動額					
剰余金の配当			△282		△282
親会社株主に帰属する 当期純利益			46		46
連結子会社株式の取得 による持分の増減		20			20
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	20	△236	-	△216
当期末残高	1,571	3,388	7,052	△662	11,350

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	74	236	33	344	327	12,238
当期変動額						
剰余金の配当						△282
親会社株主に帰属する 当期純利益						46
連結子会社株式の取得 による持分の増減						20
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	21	△75	14	△39	302	262
当期変動額合計	21	△75	14	△39	302	46
当期末残高	96	160	48	304	630	12,285

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△190	266
減価償却費	382	371
減損損失	322	437
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△74	△117
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△500	18
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4	34
受取利息及び受取配当金	△10	△8
支払利息	59	90
固定資産受贈益	-	△9
助成金収入	△1	-
売上債権の増減額(△は増加)	268	△264
棚卸資産の増減額(△は増加)	345	620
仕入債務の増減額(△は減少)	△38	412
受取補償金	△1	-
特別功労金	150	-
助成金返還損	36	-
未払金の増減額(△は減少)	△56	39
未払又は未収消費税等の増減額	22	△43
その他	△263	△530
小計	446	1,317
利息及び配当金の受取額	14	9
利息の支払額	△59	△91
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△99	△215
補償金の受取額	1	-
助成金の受取額	1	-
助成金の返還額	△36	-
特別功労金の支払額	△150	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	118	1,019

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△261	-
定期預金の払戻による収入	400	18
固定資産の取得による支出	△462	△334
敷金及び保証金の差入による支出	△13	△16
敷金及び保証金の回収による収入	138	120
保険積立金の積立による支出	△21	△18
貸付けによる支出	△5	△14
その他	△81	△134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△306	△378
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	3,600	3,500
長期借入金の返済による支出	△4,379	△4,131
配当金の支払額	△282	△282
非支配株主からの払込みによる収入	62	306
財務活動によるキャッシュ・フロー	△999	△608
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,171	18
現金及び現金同等物の期首残高	6,263	5,092
現金及び現金同等物の期末残高	5,092	5,111

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に宝飾品の製造販売、眼鏡の製造販売及び食品販売・飲食店事業を営んでおります。したがって、当社は「宝飾品」、「眼鏡」及び「食品販売・飲食店事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	25,806	3,224	2,239	31,271	—	31,271
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,806	3,224	2,239	31,271	—	31,271
セグメント利益又は損失(△)	297	205	△318	184	3	188
セグメント資産	27,391	2,296	673	30,361	△487	29,873
セグメント負債	16,923	465	246	17,635	△0	17,634
その他の項目						
減価償却費	239	109	33	382	—	382
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	341	123	22	488	—	488

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額△487百万円及びセグメント負債の調整額△0百万円は、セグメント間債権債務消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	27,498	4,253	2,138	33,890	—	33,890
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	27,498	4,253	2,138	33,890	—	33,890
セグメント利益又は損失(△)	788	173	△277	684	2	687
セグメント資産	26,532	3,565	581	30,678	△591	30,087
セグメント負債	16,355	1,233	213	17,802	△0	17,802
その他の項目						
減価償却費	219	131	20	371	—	371
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	394	917	18	1,330	—	1,330

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額△591百万円及びセグメント負債の調整額△0百万円は、セグメント間債権債務消去等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

区分	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,136円80銭	1,112円36銭
1株当たり当期純利益又は1株当 り当期純損失金額(△)	△32円94銭	4円41銭

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	12,238	12,285
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	327	630
(うち非支配株主持分(百万円))	(327)	(630)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	11,910	11,654
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株)	10,477	10,477

3. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(百万円)	△345	46
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(百万円)	△345	46
期中平均株式数(千株)	10,477	10,477

(重要な後発事象)

該当事項はありません。